



令和7年3月25日

独立行政法人日本学術振興会

ブラジル高等教育支援・評価機構（CAPES）との覚書署名

独立行政法人日本学術振興会（理事長 杉野 剛）は、ブラジル高等教育支援・評価機構（CAPES）との覚書（MOC）に署名しました。

1. 署名式

令和7年3月25日（火）、独立行政法人日本学術振興会（JSPS）及びブラジル高等教育支援・評価機構（The Brazilian Federal Agency for Support and Evaluation of Graduate Education: CAPES）における、学術協力に関する覚書（MOC）の署名が行われました。

ブラジル高等教育支援・評価機構（CAPES）とは、2010年に覚書締結後、2021年に学術国際交流事業を中断しましたが、日本ブラジル友好交流年（外交関係樹立130周年）の時宜を得て、両国の深い信頼関係に基づき、二国間交流事業の実施を再開することが決定し、JSPS杉野理事長及びCAPESカルヴァーリョ理事長が署名を行いました。

同日、杉野理事長は、訪日中のサンタナ教育大臣と会談を行い、本事業の再開を歓迎すると共に、日本とブラジルの学術国際交流の発展を図っていくことを確認しました。

2. 覚書（MOC）概要

目的	日本及びブラジルの学術国際交流強化
目標	共同研究プロジェクト、その他の協力
経費分担	相互支援
署名者	JSPS 杉野 剛理事長 CAPES デニス カルヴァーリョ理事長